

SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラムユーザーインタビュー

■A I パネル⑮

橋本 (32) / 中学校教師

- 属性： 京都府京都市左京区。体育教師。既婚。
- 美容タイプ： 美容液初心者
- 購入チャネル： 大手ドラッグストア
- 購入の動機： 毎日屋外で部活指導。生徒から「先生、顔が疲れてる」と言われショック。美容に詳しい妻に勧められ、渋々ながらも購入。
- 現状： ズボラな自分でも、この洗練されたボトルを手にとると「ケアのスイッチ」が入る。日焼け後のダメージが残りにくくなったのを肌で感じている。

<結果サマリー>

生徒の指摘で老いを自覚、ケアの習慣のための『投資』として妻推奨の高級美容液に頼った体育教師

- 1. 美容についてのこだわり** 対象者は「清潔感」を、教師という職業における対人マナーと定義している。かつては日焼け止めすら避けていたが、生徒から「顔が疲れてる」と指摘されたことが、自己の客観的な衰えを突きつけられる決定的な契機となった。「実年齢より老けて見える」というショックが、単なるスキンケアの開始ではなく、現状の自分を否定したくないという強い動機に繋がっている。
- 2. 普段のスキンケアと目指す肌** 基本的には無印良品を中心とした簡素なケアを好むが、妻の助言を忠実に守ることで失敗を避けたいという心理が強い。目指す肌は、美肌そのものではなく「生徒に心配されない、ダメージを感じさせない肌」である。夕方に「顔色が暗くなってない」ことや、触れた時の「ゴワゴワ感の解消」に、自身のケアが機能しているという実感を求めている。
- 3. 現使用美容液購入経緯** 購入の決め手は、妻の推奨と反町隆史氏のCMによる「清潔感のある大人」への投影、そしてテスターでの「守られてる感」の体感である。あえて50mLの高額サイズを選択した理由は、買いに行く手間の削減だけでなく、習慣化への「覚悟」代という側面が強い。「中途半端なサイズより一番いいやつ」を手にすることで、ズボラな自分を律しようとしている。
- 4. 現使用美容液使用実態と評価** 製品を単なる保湿剤ではなく、仕事に向かうための「装備品」や、日常から離れて自分を労わる「スイッチ」として意味づけている。5段階評価で「4」とする理由は、夕方の肌の持ちに満足しつつも、価格への心理的抵抗が残るためである。しかし、木の香りに包まれる瞬間に「自分を大事にしてる感覚」を得ており、精神的な充足感が継続利用を支えている。
- 5. 現使用美容液 今後の使用意向** 継続意向は「5」と高く、価格を上回る「お守り」としての安心感を重視している。5年、10年先も「シュッとしてる先生」でありたいという未来像の土台として、本製品を位置づけている。ブランドへの信頼が高まった結果、洗顔など他アイテムのライン使いにも好奇心を示し始めており、美容液が「自分への投資」という新たな価値観の入り口となっている。

1. 美容についてのこだわり

インタビュアー：

本日はありがとうございます。まずは、お名前やご職業、お住まいのエリアなどを簡単に教えていただけますか？

対象者：橋本です。32歳です。京都の左京区に住んでいて、中学校で体育の教師をしています。部活動の顧問もやっているのですが、基本的には毎日外にいる感じですね。家族は妻と二人暮らしです。

インタビュアー：毎日外にいらっしゃるんですね。橋本さんが、ご自身の「美容」について、スキンケアに限らずこだわっていることはありますか？

対象者：こだわり、というほど大層なものはないんですけどね……。強いて言えば、最近は「清潔感」だけは失わないようにしようと思っています。教師という仕事柄、生徒や保護者の方とも接しますし。でも、もともとは本当に無頓着で、日焼け止めすら「ベタつくから嫌だ」って避けていたくらいなんです。今は、妻に言われて渋々、最低限のことだけはやるようにしている、という感じですかね。

インタビュアー：「清潔感」を失わないように。そう思われたのには、何かきっかけがあったんでしょうか。

対象者：……やっぱり、生徒の言葉ですかね。ある時、部活の指導中に生徒から「先生、なんか今日、顔が疲れてるよ」って言われたんですよ。自分ではそんなつもりはなかったんですけど、鏡をまじまじと見たら、なんだか肌がガサガサで、実年齢より老けて見える気がして。あれは結構、ショックでしたね。

インタビュアー：生徒さんに「顔が疲れてる」と言われて。その時、鏡を見て感じた「老けて見える」というのは、具体的にどういった状態だったんでしょうか。

対象者：なんというか、全体的にどんよりしているというか。日焼けで黒いのはいいんですけど、ツヤがなく、目の周りのシワとか、口元のカサつきが目立つようになった気がしたんです。それで「あ、これはマズいな」と。そこからですね、ちゃんとケアを考え始めたのは。

2. 普段のスキンケアと目指す肌

インタビュアー：

普段のスキンケアについて詳しく教えてください。まず、朝は洗顔のあと、どの順番で何を肌につけていますか？具体的なブランド名もあわせて教えてください。

対象者：朝は、まず洗顔をしてから、無印良品の「導入化粧液」をパパッとつけて、その後に同じく無印の「高保湿化粧水」を塗ります。で、その後に、この「SHISEIDO MEN アルティミューン」を2プッシュくらい馴染ませて終わりです。乳液はベタベタするのが嫌なので、今は使ってないですね。

インタビュアー：無印の導入液と化粧水、その後にアルティミューンですね。夜はどうですか？

対象者：夜は、妻に「汚れを落とさないという意味がない」って言われて、シュウ ウエムラのクレンジングオイルを使っています。その後に朝と同じ無印の化粧水、最後にアルティミューンです。本当はもっと工程があるんですけど、ズボラな僕にはこれが限界ですね。

インタビュアー：クレンジングも取り入れていらっしゃるんですね。毎日ではないけれど、時々行うような特別なケアは何かありますか？

対象者：……たまに、本当に肌がガサガサだなと思った時だけ、妻が使っているメディヒールのシートマスクを勝手に借りて貼ることはあります。でも、せいぜい月に1~2回、週末に気が向いた時くらいです。

インタビュアー：月に1~2回、シートマスクを。そういった日々のケアを続けていくことで、最終的にどういう状態の肌になりたいと思われていますか？

対象者：うーん……。 「若返りたい」とか「美肌になりたい」というのとは、ちょっと違うんですね。な

んて言うか、生徒に「疲れてる」って心配されないくらいの、健康そうな感じというか。外にいてもダメージを感じさせない、シャキッとした肌でいたいなと思います。

インタビュアー：生徒さんに心配されない、ダメージを感じさせない肌。具体的に、どういう状態を「シャキッとしている」と感じるのでしょうか。

対象者：そうですね。夕方になっても顔色が暗くなってないとか。あとは、触った時にゴワゴワしてなくて、ちゃんと水分がある感じがすると「あ、今日はマシだな」って思います。

3. 現使用美容液購入経緯

インタビュアー：

今回、このアルティミューンを使い始めたきっかけは何だったのでしょうか。

対象者：……正直に言うと、妻ですね。生徒に「疲れてる」って言われてショックを受けていた時に、妻に相談したんです。そうしたら「これ使ってみたら？」って差し出されたのが、スマホの画面に映ったこれでした。2025年の夏頃にやってたCM……反町隆史さんが出ていたやつを見て、妻が「これならあなたに合うんじゃない？」って。

インタビュアー：奥様がスマホで見せてくれたんですね。その時、初めてこの商品を見た印象はどうでしたか？

対象者：最初は「高っ！」って思いました（笑）。美容液なんて使ったことなかったし、1万5千円くらいするじゃないですか。自分にとっては未知の世界すぎて、「本当にこれが必要なのか？」って。でも、CMの反町さんがすごく自然体で、年齢を重ねても清潔感があってカッコいいなとは感じました。

インタビュアー：価格への驚きと、アンバサダーへの印象があったんですね。実際に買うまで、何か調べたり、他のものと比べたりしましたか？

対象者：自分からは特に調べませんでした。ただ、妻が横で「資生堂のメンズの最高峰らしいよ」とか「肌の免疫を上げるんだって」とか、色々吹き込んできて（笑）。ドラッグストアに行った時に、ちょうど棚に並んでいるのを見つけて、テスターを手の甲に塗ってみたんです。その時の感触が、今まで使ってた安物の化粧水とは全然違って。

インタビュアー：テスターを試された。その時、具体的にどう「違う」と感じたんですか？

対象者：なんというか……スッと入っていくのに、肌の表面がピタッと吸い付くような。ベタベタするのは違う、「守られてる感」みたいなのがあったんですよね。外で埃とか紫外線にさらされてる自分には、こういう強いのが必要なのかも、と。それで結局、その場で購入しました。

インタビュアー：以前は別の美容液を使っていたんですか？それとも、これが初めての美容液でしょうか。

対象者：初めてです。それまでは美容液なんて、美意識が高い特別な人だけが使うものだと思っていましたから。でも、生徒の一言で「自分はもう、放っておいても大丈夫な年齢じゃないんだ」って突きつけられた気がして。ただの化粧水じゃ追いつかない何かを、これなら補ってくれるんじゃないかという期待があったんだと思います。

インタビュアー：30ml 9900円というサイズもあったと思いますが、1万5000円くらいの方を選ばれたのはなぜだったのでしょうか？そもそも30mlの方を認識されていましたか？

対象者：あ、30mlもありましたね。棚には並んでいたの存在は知っていました。でも、最初から30mlは選択肢になかったというか……。

インタビュアー：選択肢になかった、と言いますと？

対象者：……さっきも言った通り、僕は基本ズボラなんです。30mlだと、毎日朝晩使ったらすぐになくなっ

ちゃう気がして。また買いに来るのが面倒だなんていうのが、正直なところ一番の理由ですね。1回1万円弱払ってすぐなくなるよりは、1万5千円出しても「しばらくはこれで安心」と思える方が、僕にとってはハードルが低かったんです。

インタビュアー：買いに行く手間と「安心感」の比較だったんですね。

対象者：そうですね。あと、せっかく妻に勧められて「よし、やるぞ」って決めたのに、すぐ使い切って習慣が途切れるのが怖かったのがあります。自分を追い込むじゃないですけど、高い方をドカッと買ってしまったほうが、自分もサボらずに続けられるかな、と。一種の「覚悟」代みたいなものかもしれません。

インタビュアー：ご自身の習慣を維持するための「覚悟」代。

対象者：はい。それから、棚で見た時に、大きい方のボトルの方がなんとなく「効きそう」な佇まいをしていたんですね（笑）。小さい方はちょっと物足りないというか。どうせ高い買い物をするなら、中途半端なサイズよりは、一番いいやつをしっかりと使いたいという気持ちもありました。

4. 現使用美容液使用実態と評価

インタビュアー：

今、このアルティミューンを使う時に、橋本さんなりに意識してやっていることはありますか？

対象者：意識、というほどではないですが……。朝晩、洗顔した後に2回プッシュして、手のひら全体に広げてから、顔を包み込むようにグーッと押し込むようにつけています。特に、生徒に指摘された目の周りとか、乾燥しやすい口元は指の腹でトントンと念入りに叩き込む感じですね。

インタビュアー：手のひらで押し込んだり、指の腹で叩き込んだり。なぜそのような付け方をしているのでしょうか。

対象者：……正直、高いものなので（笑）。ただ塗るだけじゃもったいないというか、ちゃんと肌の奥まで届いてくれよ、という願いを込めてるんだと思います。あとは、あのボトルのマットな質感がいいんですよね。手に取ると、よし、これから仕事だ、とか、今日も一日終わった、という切り替えのスイッチが入る気がして。雑に扱うのが申し訳なくなるような佇まいをしているんですよ。

インタビュアー：ボトルを手に取ることが「スイッチ」になっている。今、この商品に対する満足度を5段階（5が最高）で評価するとしたら、いくつになりますか？

対象者：うーん……「4」ですね。

インタビュアー：その「4」という数字の理由は。

対象者：満足している点は、肌の「持ち」ですね。夕方、部活が終わって職員室に戻った時に、鏡を見ても以前ほど「うわ、疲れてるな」って思わなくなったんです。肌の表面が固くなってないというか。マイナス1にしたのは、やっぱり値段です。リピートし続けるには、小遣い制の身としては毎回ちょっとした勇気がいりますから。

インタビュアー：夕方の肌に変化を感じつつも、価格がネックであると。他に、この商品のここが好きだ、と感じる部分はありますか？

対象者：香りですね。いかにも「化粧品！」という感じじゃなくて、スツキリした木の匂いというか、落ち着く香りがします。つけてる瞬間だけは、忙しい日常からフッと離れて、自分を大事にしてる感覚になれる。これ、結構大事なポイントかもしれません。

インタビュアー：ご自身にとって、このアルティミューンの一番の魅力は何だと思われますか？

対象者：僕みたいな「美容初心者」でも、これを置いておくだけで「自分はちゃんとケアしてる」という自信をくれるところですかね。ただの肌の手入れ道具というよりは、戦場（現場）に出る前の、ちょっとした

た「装備品」みたいな感覚です。

5. 現使用美容液 今後の使用意向

インタビュアー：このアルティミューンを今後も使い続けたいかどうか、今のお気持ちを5段階で教えてくださいいただけますか？

対象者：うーん……「5」ですね。リピートしたいと思っています。

インタビュアー：最高評価ですね。価格がネックとおっしゃっていましたが、それでも使い続けたいと思われるのは。

対象者：……やっぱり、自分に「手をかけている」という実感があるからですかね。体育教師として、1日中砂埃と日差しの中において、正直これまでは「汚れても、焼けても仕方ない」ってどこかで諦めていたんです。でも、これを使っていると「ダメージを受けても、夜にこれでリセットできる」という安心感がある。生徒からまた「疲れてる」って言われないための、お守りみたいな存在になっています。

インタビュアー：お守りのような存在。これを使うことで、今後どんなことを期待していますか？

対象者：劇的に若返りたいわけじゃないですが、5年後、10年後も、今と同じように動けて、生徒たちに「あの先生、いつも元気でシュツとしてるな」って思われていたいですね。老け込んでいくんじゃないで、いい歳の取り方をするための土台になってくれれば、と。

インタビュアー：今の健康的な印象を維持するための土台ですね。ちなみに、他に気になっている美容液などはありますか？

対象者：今は特にないです。というか、下手に他のものに手を出して、またベタベタして失敗したくないんですよ。これが今のところベストだと思っているので。ただ、妻がたまに「デパコスこれ、いいらしいよ」なんて雑誌を見せてくるので、将来的に何か勧められたら、また迷うかもしれません（笑）。

インタビュアー：最後に、この商品に対して何か要望や、「もっとこうなればいいのに」と思うことがあれば、どんな小さなことでも教えてください。

対象者：……中身が見えるようにしてほしい、ですかね。このボトルのデザイン、すごくカッコいいんですけど、不透明だから「あとどれくらい残っているか」が全然わからないんですよ。高い買い物なので、なくなる直前になって慌てたくない。残量がわかるメモリか、透けて見える部分が少しでもあると、買い足すタイミングが掴みやすくて助かります。あとは……やっぱり、もう少し安くなると、僕らみたいな小遣い制の人間にはありがたいですね（笑）。

<追加質問>

インタビュアー：今後、SHISEIDO MEN の美容液以外のアイテムも取り入れていく可能性はあると思いますか？

対象者：そうですね……。正直、これまでは「あれこれ塗るのは面倒」という気持ちが勝っていたんですが、アルティミューンを使い始めてから少し考えが変わってきました。

インタビュアー：考えが変わってきた、と言いますと。

対象者：今使っている無印良品の化粧水も悪くはないんですけど、アルティミューンを塗った時の「守られている感じ」を知ってしまうと、他の工程も同じブランドで揃えたらもっと違うのかな、という好奇心は出

てきましたね。特に、朝の洗顔とか。今は適当なものを使ってますけど、ここも SHISEIDO MEN に変えたら、もっと肌がシャキッとするんじゃないかとか。

インタビュアー：他の工程も揃えることへの好奇心。

対象者：はい。ただ、やっぱり「一気に全部変える」のはハードルが高いです。まずは今のアルティミューンを使い切って、肌の調子が本当に安定している実感が持てたら、妻に相談して「次は洗顔もこれにしてみようかな」って一歩踏み出す可能性はあると思います。自分への投資というか、仕事のための「装備」を整える感覚で、少しずつアップデートしていくのは悪くないな、と思い始めています。